

日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－2018決定。



及び 特別賞受賞品種のご紹介 切花部門 / 鉢物部門 / ガーデニング部門

■ 「いい花の新基準」。ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション (JFS)とは、「いい花の新基準。」を合言葉に、業界初の統一的な品種コンテストとして2006年春からスタート。

国内外の新品種の中から、消費者に本当に推奨できる優れた品種を選定しています。

各審査会で受賞品種のなかから、フラワー・オブ・ザ・イヤ－（最優秀賞）や、ベスト・フラワー（優秀賞）、各種特別賞を選定し年末に表彰を行っています。

フラワー・オブ・ザ・イヤ－ <i>Flower of the Year</i>	モーストジョイ 特別賞	ニューノブリュー 特別賞	グッドパフォーマンス 特別賞	カラークリエイト 特別賞	ニュースタイル 特別賞
ベスト・フラワー <i>Best Flower</i>	フレグランス 特別賞	ジャパンデザイン 特別賞	ライフデザイン 特別賞	ブリーディング 特別賞	モニター 特別賞



いい花の新基準。

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内

TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp

ジャパンフラワーセレクション2018-2019 審査会の開催状況

■切花部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2018年4月19日（木） 会場：パシフィコ横浜 ホールA・B	36品種
秋審査会	審査日：2018年11月5日（月） 会場：株式会社大田花き	13品種
切花部門 合計		49品種

審査会の様子



切花部門春審査会の様子

■鉢物部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2018年4月19日（木） 会場：パシフィコ横浜 ホールA・B	37品種
秋審査会	審査日：2018年11月19日（月） 会場：株式会社フラワーオークションジャパン	13品種
鉢物部門 合計		50品種



鉢物部門秋審査会の様子

■ガーデニング部門

審査会名	審査日	審査対象品種
夏秋審査会	審査日：第1回2018年5月29日（火） 第2回2018年7月17日（火） 第3回2018年9月4日（火） 会場：千葉大学 環境健康フィールド科学センター	27品種
秋審査会	審査日：2018年11月13日（火） 会場：千葉大学 環境健康フィールド科学センター	4品種
ガーデニング部門 合計		31品種



ガーデニング部門屋根付き施設内の様子



ガーデニング部門露地花壇の様子

審査会のほかに関東東海花の展覧会での受賞品種PR展示やお台場おもてなし花壇などでも多くの方にJFSの受賞品種をご紹介します。



関東東海花の展覧会でのPR活動



JFSお台場おもてなしガーデン(春)



JFSお台場おもてなしガーデン(春)

御協力いただいた審査員の先生方

部 門	審 査 員 名
切花部門 横浜・東京会場	<p>穴戸 純 (株)大田花き 営業本部 (部門長)</p> <p>卯木 則宏 (株)フラワーオークションジャパン 切花部 商品課 課長代理</p> <p>大根 秀夫 (株)千政 代表取締役</p> <p>細谷 宗令 元千葉県農林総合研究センター</p> <p>増田 篤 (株)日比谷花壇 東日本バンケット事業部</p>
鉢物部門 横浜・東京会場	<p>長岡 求 (株)フラワーオークションジャパン 取締役 (部門長)</p> <p>岡部 幸一 (株)大田花き営業本部 第二グループ グループリーダー</p> <p>尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役</p> <p>香取 邦枝 第一園芸(株) 新商品開発課課長</p> <p>小池 安比古 東京農業大学 農学部 バイオセラピー学科 教授</p> <p>向原 潤 (株)ディノス・セシール フラワネット本部 フラワネット事業部 EC/事業推進ユニット チーフ</p>
ガーデニング 部門	<p>福永 哲也 豊明花き(株) 代表取締役社長 (部門長)</p> <p>尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役</p> <p>杉井 志織 はなぐみ 代表</p> <p>村上 智弘 (株)フラワーオークションジャパン 鉢物部 次長</p> <p>山口 まり 日本ハンギングバスケット協会 理事</p> <p>渡辺 均 千葉大学環境健康フィールド科学センター 准教授</p>
中央審査委員会	<p>中央審査委員長 安藤 敏夫</p> <p>切花部門長 穴戸 純</p> <p>鉢物部門長 長岡 求</p> <p>ガーデニング部門長 福永 哲也</p>

ジャパンフラワーセレクション2019-2020の審査会開催予定

切花・鉢物部門

■春審査会 (パシフィコ横浜)

開催日 : 2019年4月18日 (木)

*募集締切: 2019年4月9日 (火)

■秋審査会 (大田市場での開催を予定)

開催日 : 2019年10月~11月頃

*募集締切: 開催日の約1週間前

日程が決まり次第JFSのHPに発表します。

ガーデニング部門 (千葉大学環境健康フィールド科学センター)

■春審査会

募集締切: 2019年1月末

植栽開始: 2月~3月頃 (適期をご相談ください)

審査会 : 4月~5月頃

■夏秋審査会

募集(一次)締切: 2019年1月末

植栽開始: 3月~5月頃 (適期をご相談ください)

審査会 : 期間中3回程度 (5月、7月、9月頃を予定)

切花部門 秋審査会

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）

京成バラ園芸株式会社 バラ 「シーアネモネ」



品目名 : バラ
 品種名 : シーアネモネ
 受賞者 : 京成バラ園芸株式会社（千葉県）
 ホームページ : <http://www.keiseirose.co.jp/>
 育成者 : A.J.H.van Doesum
 育成者権者 : Interplant Roses B.V.
 審査講評 : 品種名は、熱帯の海に揺らぐイソギンチャクの英名（Sea Anemone）に由来。ガーデンローズから今回切花分野へ導入された。これまでにはなかったユニークな形の花弁は新規性が高く、キュートな美しさが印象的で、非常にフォトジェニック。草姿のバランスがよくボリュームもあるが、その反面、アレンジメントには側枝がもう少し長いと扱いやすいだろう。ガーデンローズゆえ1花の花保ちはやや短めだが、新しいスタイルのバラとして注目に値する。



■受賞者コメント

【開発の経緯】

1990年に庭園用バラ品種の試作場で、変わった花形のバラを発見しました。花弁に切れ込みが入った非常にユニークなものでした。季節を通して注意深く観察を続け、品種を使って交配を重ね、幾多の苦勞を乗り越え、「ラッフルローズ」シリーズとして完成させ、市場化することが出来ました。一方で、2006年には切バラとして同種のタイプの育種をスタート。安定した特性を得るまでに年月を要したが、2015年にスプレーバラとして選抜した品種は好評を受け、2018年「シーアネモネ」として日本にて先駆けて発表されました。

【開発のコンセプト】

明確な切れ込みの入った、今までにない特徴の花弁を持つバラ。切バラとして、その特性を安定させ、市場性も兼ね備えた品種の作出。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

このような新規性に富んだバラを育種することには、大きな価値があると考えます。勿論、安定性や完成度を得るには困難が伴い、長い時間を要しますが、日本でこのバラが評価されたことに大きな誇りと喜びを感じ、努力が報われたと大変嬉しく。

【今後の展開】

現在も同種のタイプの育種に熱心に取り組んでおり、ますます多彩でより完成度を高めた新品种の誕生を予感しております。これはまだ始まりに過ぎません。

切花部門 春 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品目名 : トルコギキョウ
 品種名 : セレブリッチホワイト
 受賞者 : 住化農業資材株式会社（大阪府）
 ホームページ : <http://www.sumika-agrotech.com/>
 育成者 : 谷口 和範、遠藤 靖典
 審査講評 : 純白の花弁は花芯が見えないほどの花弁数で非常にゴージャス。フリンジタイプのトルコギキョウの完成体を見るかのような花弁のフォーメーションと言える。花弁も花首も強く、扱い易い。
 ベスト・フラワー（優秀賞）と、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 フリンジ大輪種として2008年セレブシリーズの販売を開始し、ちょうど節目の10年です。現在43品種まで増えたセレブですが、初期品種の人気に陰りがみられ、もっとフリルを強く、もっと花を大きくとの声が聞かれるようになりました。初期セレブの親同士を交配してグレードアップした新しい親を5年かけて作り、豪華な花形を手に入れることが出来ました。

【開発のコンセプト】 豪華な花形を突き詰めると、開花時のエネルギー消費が激しく、一般的に栽培が難しくなります。豪華な花をもちながら栽培しやすいを保持すると、相反しがちな性質を両立させることを目標に開発をすすめ、生産者の栽培技術協力のもと年中切り花が入手できるようになりました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 いいとこ取りを目指し複数素材を交雑し親育成するが、減多に希望通りにいかないもので。今回は思い通りの形質が獲得できた稀有な開発でした。

【今後の展開】 同様の豪華な花形で、日本でも人気の高いピンク色を作出したい。

切花部門 春 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞）



品目名 : トルコギキョウ
 品種名 : ウェーブクラシカ
 受賞者 : カネコ種苗株式会社（群馬県）
 ホームページ : <http://www.kanekoseeds.jp>
 育成者 : 北爪 伸英
 審査講評 : 希少色の茶系のフリンジ咲き品種。茶系の中でも発色が良く、幅広い用途での利用拡大が期待できる。フリンジも優美で上品な印象がある。
 花や葉の美しさなど、品種特性の優位性や新規性に加えて、生活者の視点から「購入しやすさ」「飾りやすさ」なども評価し、総合的に優秀と認められる品種としてベスト・フラワー（優秀賞）を受賞。来場者人気投票では、切花部門第10位に入賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 当社のクラシカルは薄茶色の中大輪フリル咲きで、秋時期の需要に適した品種ですが、花色が薄くフリルも弱いため、より茶色が濃くフリルの強い品種を目標として開発を行いました。

【開発のコンセプト】 需要期である秋時期に茶色の色がしっかりと発色し、フリルの強い花型を目標としました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 アンティーク色の品種は季節によって花色が変わり易いため、安定した花色の品種の育成が難しいところです。

【今後の展開】 ウェーブクラシカは花首が細く軟らかいという欠点がありますので、同タイプでより茎の硬い品種の開発を行っていきたいと思います。

切花部門 春 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞） [ライフデザイン特別賞 同時受賞]



品目名 : トルコギキョウ
 品種名 : ジュリアスラベンダー
 受賞者 : カネコ種苗株式会社（群馬県）
 ホームページ : <http://www.kanekoseeds.jp>
 育成者 : 北爪 伸英
 審査講評 : 立体的な花型でフリンジの重ねが美しい少し赤みがかったラベンダー色の花卉。3～5分咲きのグリーンをつぼみとのコントラストも美しい。花卉のフリンジ感、立体感、花色ともに見事なバランスである。ベスト・フラワー（優秀賞）と高いデザイン性・消費者にとって扱いやすい特性を持ち、生活空間を豊かにしてくれる品種としてライフデザイン特別賞も同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 当社のエグゼラベンダーは赤紫系ラベンダーの大輪フリンジ咲きで、ブライダルや葬儀を中心とした業務用途で多く用いられていますが、高温期を経過する作型では花首が軟らかいため、夏から秋にかけて出荷できる花首の硬い品種の開発が望まれてきました。

【開発のコンセプト】 当社の中大輪フリンジ咲きのジュリアスライトピンクは花卉と花首が硬く市場での評価も高いことから、エグゼラベンダーと同系色でジュリアスライトピンクの花卉と花首の硬さを兼ね備えた品種を目標として開発を行いました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 フリンジの強い品種は花型の豪華さにはありますが、ロゼットやチップバーンが発生しやすく、出荷ロスの大きな要因となるため、作り易さを兼ね備えた品種の育成が難しいところです。

【今後の展開】 市場では青系ラベンダーの需要が多く、ジュリアスラベンダーの青系ラベンダータイプの開発も行っていきたいと思えます。

切花部門 春 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ特別賞 同時受賞]



品目名 : バラ
 品種名 : ピンクメイプルローズ
 受賞者 : 有限会社たなまち園芸場（福岡県）
 育成者 : 棚町 満
 審査講評 : ころっとした中輪の花、サイズ感が絶妙なスプレータイプのバラ。ディープカップ咲きの花型で、中からロゼットが出てくる。少しくすみのある濃いピンクの花色は、他の花との組み合わせがしやすい。輪つきが良く、そのままでも切り分けても使えるので、ブーケにもアレンジメントにも利用しやすい。ベスト・フラワー（優秀賞）と、それがあるだけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらせてくれる品種としてモーストジョイ特別賞を受賞した。来場者人気投票では切花部門第6位。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 所有の交配品種の枝変わりから作った品種です。比較的早く発現しました。カップ咲きのバラは大輪だととても迫力が出ますが、中輪にすることで、かわいらしく、またファンシーな印象を与えてくれます。イメージ通りのバラができました。

【開発のコンセプト】 大人だけでなく、子供にも似合うかわいらしいバラを目指しました。また、花型が特徴的で、ディープカップ咲きの中から堀の深いロゼットが出てきて丸く咲きます。ゲームのキャラクターのような頭が大きいシルエットをしています。花色は、愛らしいピンク色で他の色との相性が良いです。また、花の大きさは中輪で、アレンジや花束の引き立て役にもなります。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 育種は、期待通りの品種がなかなか発現しないときもありますが、「必ず良い品種がでるだろう」と思って交配を続けています。期待して育種をすることで、自然と植物は変化してくれるようです。育種は、長い年月がかかりますが、選抜したり、交配の方法を変えたり、色々試してみながら、前向きに育種を行っています。

【今後の展開】 仕事で関わる方、花屋さんや消費者の意見や考え方に触れ、満足して使っていただけるバラを作りたいです。

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ特別賞 同時受賞]



品目名 : バラ
 品種名 : ブライダルメイプルローズ
 受賞者 : 有限会社たなまち園芸場（福岡県）
 育成者 : 棚町 満
 審査講評 : ころっとした中輪の花、サイズ感が絶妙なスプレータイプのバラ。ディープカップ咲きの花型で、中からロゼットが出てくる。中心から縁にかけて薄くなるピンク色の濃淡が美しく、花の立体感もでている。輪つきが良く、そのままでも切り分けても使えるので、ブーケにもアレンジメントにも利用しやすい。
 ベスト・フラワー（優秀賞）と、モーストジョイ特別賞を受賞し、来場者人気投票では切花部門第3位となった。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 「ピンクメイプルローズ」の枝変わりから生まれた品種です。「ピンクメイプルローズ」を栽培して3年目に濃いピンク色のバラが出てきました。更なる枝変わりを期待して、枝を切ってまた様子を見て…と繰り返すこと5年ほどで、桜のようなピンク色のバラも出てきました。そして桜ピンク色の枝を切って、挿し木して、試作を重ねた結果、桜ピンク色だけが咲くようになりました。

【開発のコンセプト】 食欲がわくフルーツのようなバラを目指しました。「ブライダルメイプルローズ」は、桃を彷彿とさせるバラです。花色は桜のようなピンク色で、中心から外側にかけてだんだんと薄くなっていきます。柔らかい色は様々な場面でかわいらしい場を演出してくれると思います。名前にもあるように、ブライダルで使ってほしいと思っています。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 育種は、期待通りの品種がなかなか発現しないときもありますが、「必ず良い品種ができるだろう」と思って交配を続けています。期待して育種をすることで、自然と植物は変化してくれるようです。育種は、長い年月がかかりますが、選抜したり、交配の方法を変えたり、色々と試してみながら、前向きに育種を行っています。

【今後の展開】 仕事に関わる方、花屋さんや消費者の意見や考え方に触れ、満足して使っていただけるバラを作りたいです。

切花部門 秋 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞） [フリーディング特別賞・ニュースタイル特別賞同時受賞]



品目名 : キク
 品種名 : かがり弁白
 受賞者 : 愛知県農業総合試験場東三河農業研究所
 育成者 : 長谷川徹 始め22名
 育成者権者 : 愛知県・国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
 審査講評 : 花卉の先端に複数の突起がある「かがり弁」と呼ばれる珍しい花形は、これまでのキクにはない華やかな美しさ。ブライダルなどお祝いのアレンジメントなど、年間を通じて様々な場面で利用できる。今後の花色の展開や、量産化に期待する。出荷時に花卉の傷みが出ないように、荷姿も引き続き検討したい。
 ベスト・フラワー（優秀賞）、育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種としてフリーディング特別賞、斬新で優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を同時受賞した。人気投票では第5位。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 通常のキク同士の交配から、外側の花卉だけ先端に複数の大きな突起がある「かがり弁」となった系統が、2006年に初めて出現しました。この系統に、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（量研）がイオンビームを照射し、花色や花卉形の異なる様々なバリエーションの「かがり弁」系統を得ました。この中から、全ての花卉が「かがり弁」となった系統を選び、開花調査と選抜を何年も繰り返して誕生したのが「かがり弁白」です。

【開発のコンセプト】 愛知県は全国一のキク生産県です。キクの新たな需要拡大を目指して、祝い事やフラワーアレンジメントにも利用できるような新品種開発に取り組んでいます。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 一度見たら忘れられない、とても華やかでインパクトのある品種です。花卉の突起は様々な方向に伸び、同じ花でも花卉の形は少しずつ違います。開発には長い年月が必要でした。花の中央まで「かがり弁」となり、花色が鮮明で、花卉が真っ直ぐに伸びるタイプの系統を選び出すことに苦勞しました。最初の交配（2005年）から品種の完成（2017年）に至るまで、通常のキク育種期間（5～6年）よりも2倍以上長い、13年間がかかりました。2017年12月に開催されたフィギュアスケート大会ではヴィクトリーブーケに採用され、宇野昌磨選手ら入賞者に贈呈されました。

【今後の展開】 「かがり弁白」は、愛知県と量研との共同開発品種です。他に、赤紫色と黄色の「かがり弁」品種も開発しており、3品種共に品種登録出願公表中です。今後、「かがり弁」シリーズ3品種は、華やかで高級感のあるマムとして、全国で販売を開始する予定です。また、鉢物としての利用も検討しています。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ライフデザイン特別賞同時受賞]



品目名 : グロリオーサ
 品名 : ZEN
 受賞者 : 藤井 隆志 (愛知県)
 育成者 : 藤井 隆志
 審査講評 : ビビッドでクリアなオレンジ色が新鮮で、よく印象に残る。1枝の輪数が多く、動きがあり、用途の幅が広がりそうな、ジャストサイズの中輪がよい。グロリオーサの弱点ともいえる蕾の開きにくさが改善され、蕾も含めて1枝につき6~8輪の花が開く。硬さがある茎は曲がりにくく、扱いやすい。一般的な赤色大輪系と比較すると、約2倍の花保ちがすることにも期待する。また、グロリオーサの開発は日本ならではの事業。ネーミングも併せて輸出にも対応できるだろう。ベスト・フラワー（優秀賞）と生活空間を豊かにしてくれる品種としてライフデザイン特別賞を受賞。また、人気投票では第2位となった。



■受賞者コメント

【開発の経緯】 グロリオーサは、赤色と黄色が多いので、他の色を育成したいと考えた。また、消費者に好まれるように、茎が固く、輪数の多いものを選びすぐって交配を重ねてきた。

【開発のコンセプト】 目が覚めるような明るいオレンジ色。茎が固いので長く花を楽しめる品種。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 個体間のばらつきを抑えるため、たった一つの球根から市場に出荷できるようになるまでに10年以上を要した。育成してきた期間は長いですが、多様な花色や花形に出会えたことが面白いところ。

【今後の展開】 ZENの周年出荷を目指します。また、今後も消費者のニーズに応える品種を作っていきます！

切花部門 春 審査会

ニュースタイル特別賞



品目名 : アルストロメリア
 品名 : かげろい No. 5
 受賞者 : 有限会社三宅花卉園 (千葉県)
 ホームページ : <http://www.miyake-nursery.com/>
 育成者 : 三宅 勇
 審査講評 :

黒色と緑色のコンビネーションのまるで蜻蛉の羽のような花弁が特徴。花の姿を想像させてくれるような絶妙なネーミングもよい。

これまでのアルストロメリアにはない、野生種のような雰囲気を持つ。ステムの色と花色がリンクして使い勝手も良い。斬新で優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞。

切花部門 春 審査会

カラークリエイト特別賞



品目名 : アルストロメリア
 品種名 : なごみ
 受賞者 : 有限会社三宅花卉園 (千葉県)
 ホームページ : <http://www.miyake-nursery.com/>
 育成者 : 三宅 勇
 審査講評 : 軽やかなシルエットとスポットレスの花がやわらかな印象の受け咲き品種。ごく淡いサーモンピンクの地色で弁先にグリーンのぼかしがのる。日本人の感性にあった育種と言える。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種としてカラークリエイト特別賞を受賞した。

切花部門 春 審査会

フレグランス特別賞



品目名 : キク
 品種名 : セイスピース
 受賞者 : イノチオ精興園株式会社 (広島県)
 ホームページ : <http://www.seikoen-kiku.co.jp/>
 育成者 : 牧野正且
 審査講評 : グリーンアップル、はちみつ、カンファー (樟脳) 様の香りが混ざったほのかな香りがある。フレグランスマムとして今までにない特徴をもつが、ライトピンクの丸型の花は用途も広く、使いやすい。香りのデザインが優れた品種に授与されるフレグランス特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 2年目の圃場試作の時から、セイスピースの花の近くに行くと、ほんのりと甘い香りがするという話がでており、2014年秋から本数を増やした試作で、ハウスを空けて入った時には、やはり甘い香りが強くするので、これをメインに品種販売をして行くのも良いのではという意見が出てきた事から、今までにない品種の販売を行う経緯となった。

【開発のコンセプト】 通常は生産者目線の販売戦略が中心だったのを、香りのあるマムが出た事によって、弊社としては初の消費者目線での販売を行った。マムの香りは、通常キク臭いに象徴されるが、今回のセイスピースの香りは全く別物であり、いつ作付しても香るといふ大きな特徴があった。この事から、セイスピースのような香るマムを「フレグランスマム」と名付け商標登録も取得した。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 発見は以外と早く、香りを中心とした売り出しをするのは面白いと盛り上がったが、ではこの香りの正体は何か? 確認を方々に依頼しているが、現状この香りの正体はまだ突き止められていない。社内の一部からは花の花弁を抜いても香るといふ事なので、まだまだ香りの正体が判明出来るまでは時間がかかりそうだが、新しい品種開発の扉を叩いたのかも知れない。

【今後の展開】 フレグランス (香り) に焦点を当てたポンポン咲きや、その他の花形でシリーズ化を図っていきます。

切花部門 春 審査会

モーストジョイ特別賞・モニター特別賞（人気投票第1位 春）



品目名 : ダリア
 品種名 : インカローズ
 受賞者 : 株式会社ミヨシ（山梨県）
 ホームページ : <http://www.miyosi.co.jp/>
 育成者 : 天野 良紀
 審査講評 : 中輪セミカクタス咲きのローズピンク色の品種。鮮明な花色が印象的。露芯のしにくく、茎は細いがしっかりと硬くて扱いやすい。
 その花があるだけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種としてモーストジョイ特別賞を受賞し、また来場者の人気投票では第1位となった。

■受賞者コメント

【開発の経緯】周年栽培できるピンクの品種の開発目標に育種を行った。
 【開発のコンセプト】周年栽培でき、花もちが良く、早生性に優れ、茎が太くならない品種を開発目標とした。
 【発見・開発の面白さ、難しさ】育種目標に沿って育種することはもちろんだが、その中でも予期せぬ品種ができることがあり、面白さを感じる。その反面育種目標に忠実な品種を作ることには難しさを感じる。
 【今後の展開】周年栽培できる切り花向けダリアの品種は少ないのが現状である。今後周年栽培できる切り花向けダリアの品種の拡充に努めたい。

切花部門 春 審査会

ライフデザイン特別賞



品目名 : デルフィニウム
 品種名 : ブルーオリオン
 受賞者 : 宮崎県総合農業試験場 花き部
 ホームページ : <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/nosei/mae-station/>
 育成者 : 長友広明、中村薫、森高久美
 育成者権者 : 宮崎県
 審査講評 : 赤みのないクリアな青色品種のデルフィニウム。ガク片のブルーの美しさもさることながら、中心のアイの部分(花弁)の白と青のストライプも楽しい。
 生活空間を豊かにしてくれる品種としてライフデザイン特別賞を受賞するとともに来場者の人気投票では切花部門第7位に入賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】デルフィニウムは遺伝的に雑ばくで、個体間で形質や開花期のばらつきが大きく、切り花生産に向かない品目でした。そこで、宮崎県総合農試では昭和62年からエラータム系デルフィニウムの育種に取り組みF1品種を育成することで、形質の均一化、計画的な生産を可能にしました。これまでに12品種を育成し宮崎県内で栽培されています。
 これまでに白やピンク、紫の複色系の品種を育成しましたが、青色で生産性の高い品種の育成を望まれていたため、育成に取り組みました。
 【開発のコンセプト】赤味がなく、混ざり気のない美しい青色で生産性の高い品種。
 【発見・開発の面白さ、難しさ】青色のデルフィニウムは赤味が出やすいため、赤味のない青色の品種を育成するために何度も交配を重ねました。また、高い生産性を確認するため生産者に協力してもらい現地適応性を確認し、生産者とともに育成した達成感を感じます。育成した品種は評価も高く宮崎県内で主力品種の一つとなっており、とても嬉しく思います。
 【今後の展開】みやざきオリジナルデルフィニウムの花色バリエーションを増やし、さらに生産性の高い品種の育成に取り組んでいます。

切花部門 春 審査会

グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : ダイアンサス
 品種名 : ラフィーネ エイミー
 受賞者 : 株式会社ミヨシ (山梨県)
 ホームページ : <http://www.miyosi.co.jp/>
 育成者 : 三原 健吾
 審査講評 : 小輪多花性のダイアンサス。優しい控えめなピンク色ながら、一輪一輪の花色とギザギザとした花弁の重なりが千代紙のようで目を惹く。1本のボリュームもたっぷり、他の花ともあわせやすい。
 グッドパフォーマンス特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 育成者保有のダイアンサスの極小輪タイプ ラフィーネ系同士との交配により得られた種子を播種し、実生選抜を行った。ラフィーネ エイミーは、その時に得られた系統のうちの一つである。

【開発のコンセプト】 ラフィーネ系は、花径2cm前後の極小輪が多数つき、花持ちが良い。他の花と合わせやすいフィラー素材で、エイミーもその一つである。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 想像以上の花色や花型等が出現するため、発見できた時は非常に面白い。いろいろな花色で一つのシリーズを作成することはとても難しい。

【今後の展開】 可愛い小輪花を生かす新しい色組み合わせで、多彩なシーンに対応していく。

切花部門 春 審査会

ブリーディング特別賞



品目名 : ヒマワリ
 品種名 : ビンセント® (2型) タンジェリンDMR
 受賞者 : 株式会社 サカタのタネ (神奈川県)
 ホームページ : <http://www.sakataseed.co.jp/>
 育成者 : 中川 雅博
 審査講評 : 上を向いて咲くビンセント®シリーズの特徴に加えて、べと病の耐病性を改善した品種 (品種名のDMRは「Downy Mildew Resistance」の略)。美しい濃いオレンジ色、上向きに咲くことによる用途の拡大に生産性の向上という生産者ニーズもかなえた品種。育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されるブリーディング特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 近年、特に海外のヒマワリ産地では、べと病による被害が深刻化しており、べと病に抵抗性のある品種が求められています。そのような中、「ビンセント (2型) タンジェリン」は、ぱっと目を引く濃いオレンジ色で、人気の高い品種ですが、べと病に対する抵抗性を持っていませんでした。そこで、「ビンセント (2型) タンジェリン」の特徴を持ち、さらにべと病への抵抗性を付けた品種を開発しました。

【開発のコンセプト】 花弁が際立った濃いオレンジ色で存在感のある「ビンセント (2型) タンジェリン」の魅力はそのままに、べと病に抵抗性のある品種の育成がコンセプトです。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 ベト病がまだそれほど注目されていない時から、育成を開始したので、将来この形質が必要とされるのか明確ではありませんでした。また育成の方法も手探りでしたので、大変であり、面白さもありました。

【今後の展開】 今後も引き続き、べと病抵抗性品種の開発を進めていきたいです。

また「ビンセント」シリーズの特徴である、上向き、丸弁、茎の硬さを持った、新しい色の品種を育成していきたいと思っております。

切花部門 春 審査会

ニューバリュー特別賞



品目名 : サクラ
 品種名 : 駿河2018
 受賞者 : 石井 重久 (静岡県)
 育成者 : 石井 重久
 審査講評 : 小輪の八重咲きの繊細な花。枝が細く、扱いやすい。花が繊細なだけに、葉の出が早く、花が隠れてしまわなければなお良い。静岡県裾野市のブランドサクラとして展開する予定。
 花の新たな価値観をデザインする品種としてニューバリュー特別賞を受賞した。



切花部門 春 審査会

ジャパンデザイン特別賞



品目名 : サクラ
 品種名 : 春知香 (はるちか)
 受賞者 : 石井 重久 (静岡県)
 佐賀中部障がい者ふくしネット (佐賀県)
 育成者 : 石井 重久
 審査講評 : 敬翁桜をさらに多花性に改良した品種。密集して花がつき、華やか。「春の香りを感じる (知る)」という意味で佐賀市長により命名された。今後は佐賀のブランド桜として展開する予定。
 日本らしさをもち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されるジャパンデザイン特別賞を受賞

■受賞者コメント

【開発の経緯】 本種は、2007年に石井重久氏が山形で試験栽培をしていた敬翁桜実生 (敬翁桜間交雑F1) のうちの一つ。山形では敬翁桜と同時期に開花してまったく似ているため放置していた。静岡 (富士市) では、2011年12月に開花していたが再現するかどうか観察していた。2011年以降、12月開花は継続していて、(山形で普及している) 啓翁桜の開花は3月20日前後であるため、開花期によって区別性があり、また、需要があるためにメガポリス地帯での正月用の桜として佐賀で増殖することとした。

【今後の展開】 佐賀県において、障がい者福祉事業所の利用者と共に増殖した苗を栽培し、切り花として出荷することを目指している。

切花部門 春 審査会

フレグランス特別賞



品目名 : バラ
 品種名 : カレン
 受賞者 : やぎばら園 (静岡県)
 育成者 : 八木 恒夫
 審査講評 : 誰にも好まれる淡いライラック色。ダマスクモダンとティーの香りが混在したブルーの香りが特徴。香りの強さと優しい花色のギャップも魅力的。芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されるフレグランス特別賞を受賞するとともに、来場者人気投票では切花部門第2位となった



切花部門 秋 審査会

カラークリエイト特別賞



品目名 : セロシア (ボンベイケイトウ)
 品種名 : アスカセレクト パオパオ
 受賞者 : 株式会社明日香園 (佐賀県)
 ホームページ : <http://asukaen.com/>
 育成者 : 山口秀行
 審査講評 : 切花部門の秋審査会では、毎年のように新たな色目が登場するセロシア。ボンベイケイトウの独特なテクスチャーに加え、本品種は個性的な花色。満場一致でカラークリエイト特別賞を受賞した。グリーンがかったピンクは独特のアンティークカラーで、合わせる花材を選ばない。昨今注目されている秋色アジサイと同じイメージで利用したい。葉がやや大きめの傾向なので、間引くなどの処理をして利用するとよいだろう。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ケイトウの新しいカラーを提案したいと思い立ち、これまでのアスカセレクトシリーズとは異なる色合いの育種に挑戦した。

【開発のコンセプト】 アンティークな色合いのピンクで、テクスチャーの特殊さも際立つ品種となりました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 圃場に咲く一本のケイトウから、まったく新たな品種がスタートする事も多く、しっかり観察しながら育種をしていく楽しみはなにものにも代え難いです。

【今後の展開】 アスカセレクトシリーズとして常に新たな色合い、性能をもった品種を開発し、さらにケイトウの活躍の場を広げていきたい。

切花部門 秋 審査会

グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : トルコギキョウ
 品種名 : セレブグレープ
 受賞者 : 住化農業資材株式会社 (大阪府)
 ホームページ : <http://www.sumika-agrotech.com/>
 育成者 : 谷口 和範、遠藤 靖典

審査講評 大輪のうえ、強めのフリルがドレスリーな印象を与える。花色は赤味のあるクリアなラベンダー色で非常に発色がよく、合わせる花材を選ばない。万人に好まれる使いやすい色目ながら、よく映えて目に留まる。花弁は厚みがあり硬くしっかりとしており、花保ちのよさも優れている。扱いやすさとバランスのよさからいって汎用性が高く、用途を選ばない。今後、様々な場面で利用されていくだろう。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 企業としては基本色の開発に重きをおくのがセオリーですが、育種の過程では、市場に出回っていないおしゃれな色合いや変わった色合いのトルコギキョウがたくさんあります。弊社は、トルコギキョウの多様性を活かしている様々な品種を販売していきたいと考えております。

【開発のコンセプト】 ラベンダーカラーの代わりに使える、鮮やかなライラックカラーです。茎葉に馬力を持たせることで、より花は大きく豪華になりました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 花を大きくしていく過程で、その大きな花を支えるしっかりした花首、大きな花が咲く時の栄養消耗に耐えられるような体づくり、生理障害への耐性などバランスを取りながら育成していく難しさがあります。

【今後の展開】 より青味を強くし、ブルー系のトルコギキョウを育成していきたい。

切花部門 秋 審査会

ジャパンデザイン特別賞



品目名 : キク
 品種名 : セイリwindサン
 受賞者 : イノチオ精興園株式会社 (広島県)
 ホームページ : <http://www.seikoen-kiku.co.jp/>
 育成者 : 牧野正且
 審査講評 :

品種名のリwindは「巻き戻す」という意味。花が咲き進むにつれて細い花弁が巻きはじめ、変わりゆく花姿をじっくりと長く楽しむことができる。これは、古典菊の江戸菊で「芸」と呼ばれる特性。洋風のデザインでも利用できるよう、ブラッシュアップされたといえる。デザイナーを筆頭に、この特徴を上手く発信して欲しい。

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されるジャパンデザイン特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 スパイダータイプの育種開発の中から花形の異なる品種を発見した。

【開発のコンセプト】 花に変化のある咲き方、花形を目標にした商品開発

【発見・開発の面白さ、難しさ】 この品種は既に2011年に選抜していたが、その後どう売り出すか社内検討を繰り返し品種発表までに5年を費やした。その間、市場や小売店に見て頂き、高く評価を得たことが発表のきっかけになった。

【今後の展開】 特に秋冬の装飾やアレンジに合う品種なので期間限定での販売を進めていきます。

モニター特別賞（人気投票第1位 秋）



品目名 : バラ
品種名 : シャルドネ
受賞者 : ばら工房パティオローズ（千葉県）
育成者 : 小川 宏
審査講評 : 水彩画のように滲んだツートーンの花色が美しく、コロコロと丸い花形はボリュームがあってかわいらしい。花弁数が多く締まっており、形が崩れることなく球状をキープするほど花保ちがよい。トゲが多めだが茎は太く、しっかりしている。大田市場内での展示中に買参人・市場関係者に対して行った人気投票では第1位を獲得した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ミニバラとHP（オールド）の交配でストロベリーマカロンを8年前に選抜、これを母木として、レオニダスを交配、4年前にシャルドネを選抜したもの。

【開発のコンセプト】 ・かわいらしい ・30代、40代の女性向け ・鉢物、ブーケ、コサージュ、切花

【発見・開発の面白さ、難しさ】 母木の選定を今までの概念から変え、異なる発想で選抜すること。

【今後の展開】 私は異なる業種のため、栽培、販売の新しいパートナーがいればありがたい。



品目名 : ファレノプシス
品種名 : ナオミゴールド
受賞者 : 有限会社椎名洋ラン園（千葉県）
育成者 : 椎名 正剛

審査講評 : くすみのない鮮やかなイエローは、今までのコチョウランの黄花品種のイメージを大きく覆すほどのインパクト。本品目の改良の進化に敬意を表す、ブリーディング特別賞同時受賞。

非常に人目をひく花色ながら上品な佇まいを感じるの、アクセントとして入る赤オレンジ系のリップがキュッと小ぶりだから。また、草姿や花の並びもよく、奇抜さだけに留まらない。

■受賞者コメント

【開発の経緯】黄色の胡蝶蘭は引き合いが多いが、色が薄かったり、花持ちが悪かったりと、優良品種が少ない。

自信を持ってお勧めできる、黄色のオリジナル品種を開発したかった。

【開発のコンセプト】

開花期間が長い黄色の品種と、珍しいオレンジ色の品種の掛け合わせにより、よりディープなイエローの花持ちの良い品種が生まれた。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

年間数万種の実生品種を開花させるが、最終的に販売まで辿り着けるのはほんの2～3品種である。今回のナオミゴールドは実生から選抜の時点で、多くの試験品種の中から一際輝いて見えた。

【今後の展開】

- ・胡蝶蘭の花言葉は「幸せが飛んで来る」。幸せの黄色い胡蝶蘭として、全国の家庭に普及させたい。
- ・小輪系多輪咲きの黄色系優良品種の開発。

鉢物部門 春 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞）

[ジャパndeザイン特別賞 同時受賞]



品目名 : アジサイ
 品種名 : 涼花（すずか）
 受賞者 : 久保田花園（群馬県）
 育成者 : 久保田 正夫
 審査講評 : 白ピンクベースに縁に薄く赤系の覆輪が入るコンパクトなアジサイ。ガク咲きのような咲き始めから徐々に中心の両性花も咲いて手まり咲き化していく。
 花色、花型がシンプルで軽い感じで新鮮。小輪品種の可能性を感じさせるユニークさもある。
 ベスト・フラワー（優秀賞）と、日本らしさをもち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種としてジャパndeザイン特別賞を同時に受賞した。

■受賞者コメント

こちらの品種は「可憐で可愛い」を開発テーマとして生まれた品種です。
 山アジサイ系のオリジナル品種をベースにコンパクトで枝の丈夫さ、花付きの良さを持った個体を選抜して生まれた品種です。品種の特徴は様々な花の変化を楽しめるというところがあります。
 開花初期はがく咲き～中期はテマリ咲きとがく咲きの中間(半テマリ咲き)～後半はテマリ咲きのように変化の過程が楽しめる品種になります。
 花色は白系を基調にピンク系の縁取りが入って最後は全体が薄ピンクに変化します。
 比較的コンパクトでまとまりの良い品種特性と相まって品種テーマである「可憐さ」と「可愛さ」を体現しています。
 山アジサイ系の花の控えめで奥ゆかしい美しさと西洋アジサイ系のまとまりの良い品種特性は、トラッドさとモダンなバランス特性を備えています。

鉢物部門 春 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞）

[モーストジョイ特別賞 同時受賞]



品目名 : オステオスペルマム
 品種名 : オペラムーブ
 受賞者 : 株式会社ゲブラナガトヨ(茨城県)
 ホームページ : <http://www.poinsettia.co.jp/>
 育成者 : 荒井 芳夫
 審査講評 : オステオスペルマムとしては珍しい濁りないピンク色。花首がやや長めでナチュラルな雰囲気があり、自然風な寄せ植えや花壇のデザインに使いやすい。
 ベスト・フラワー（優秀賞）と、楽しい気分をもたらしてくれる品種に授与されるモーストジョイ特別賞を同時に受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 系統維持していた花首（通常品種の約1.5倍）の長い個体と八重種と交雑を行い、分離した個体種の中から花に光沢の系統と掛け合わせ選抜しました。また、品種開発には自社技術と現役ネイリストの交配サポートによって、新しいジャンルのダブルオステオが誕生しました。ネイリストの繊細なカラーセンスには驚くばかりです。
【開発のコンセプト】 自社では、女性による育種と選抜を重視し、消費者に近い目線で品種開発を行っております。
【発見・開発の面白さ、難しさ】 オペラムーブは八重咲種では珍しく花卉全体に光沢があり、まるで3D咲とも表現される。また、花首が通常より長い為、寄せ植えにも適し幅広い用途として可能になります。
【今後の展開】 この系統から分離させ、幅広く他のカラーを創る目的で育種を継続しております。もちろん、ネイリストのサポート育種が必要となります。

鉢物部門 春 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞）

[ニューバリュー特別賞・モニター特別賞 同時受賞]



品目名 : センテッドゼラニウム
 品種名 : チェリー茅ヶ崎
 受賞者 : 鈴木 清次
 株式会社サカタのタネ（神奈川県）
 ホームページ : <http://www.sakataseed.co.jp/>
 育成者 : 鈴木 清次
 審査講評 : ノーピンチ栽培で株が円錐状に仕上がる特性、株を覆いつくす桜色の花、香りも楽しめたくさんの魅力が詰まったセンテッドゼラニウム。
 ベスト・フラワー（優秀賞）と今までにない新しい価値観を感じさせる品種としてニューバリュー特別賞を同時に時受賞、また、来場者人気投票では鉢物部門第1位を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 この品種の作出にあたっては、どれだけ交配しても種子が出来難く、発芽率が非常に低いことが苦労した点でした。2012年に交配した株を維持管理し、その4年後の2016年に挿し芽をした株の中で、摘みし忘れた数株が、たまたま円錐状に咲き、目を引いたことがきっかけでこの品種の取り上げを決めたのが生い立ちです。

【開発のコンセプト】 花付きがよく、ボリューム感があるだけでなく、日本人が好みそうな優しい桜色のようなライトピンクカラーが目を引く品種です。開花期間は3月～6月までと連続開花性にも優れています。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 本品種は、たまたま摘心作業をしていなかった株から発見できました。通常ですと何年も交配を重ねて品種を作出しますが、今回は偶然の産物でした。ひょんなことから新しい発見ができることが面白いと思います。

【今後の展開】 今後とも皆様に愛される花々の創出をしていきたいと存じます。

鉢物部門 春 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞）

[フリーディング特別賞 同時受賞]



品目名 : ペチュニア
 品種名 : Yes!イエロー
 受賞者 : 株式会社 エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）
 ホームページ : <http://www.mbflora.co.jp>
 育成者 : 大屋 寛高
 審査講評 : 非常に濃いイエローで、3～4cm程の小輪タイプの花をたくさんつける。黄色品種だが、葉の色に同化しないでやや明るめの葉に良く映えている。分枝が良く、生育旺盛。日本の夏に強い耐暑性もあり、夏の園芸に楽しみが広がる良い品種。
 ベスト・フラワー（優秀賞）とフリーディング特別賞を同時受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ペチュニアの中でも濃い黄色の品種はこれまでほとんどありませんでしたが、育種の中で濃い黄色かつ対候性に極めて優れた系統を選抜しました。

【開発のコンセプト】 黄色の濃さ・優れた耐候性、優れた株のパフォーマンス

【発見・開発の面白さ、難しさ】 実際に外で植え、想定を超えるパフォーマンスを見せてくれる品種を見つけたときに植物としての面白さを感じます

【今後の展開】 「耐候性に極めて優れる」を軸に、他の花色の開発を進めてまいります。

鉢物部門 春 審査会
ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]


品目名 : ペチュニア
 品種名 : ギュギュ ダブルベリー
 受賞者 : タキイ種苗株式会社(京都府)
 ホームページ : [http:// www.takii.co.jp](http://www.takii.co.jp)
 育成者 : 宮野 伸哉
 審査講評 : ネーミングのとおりギュギュっと密集した花付き、こんもりとまとまりのよい草姿のペチュニア。花弁の基部に濃いピンク色が入るユニークな色合いで、八重独特の立体感をより際立たせている。多花性でかつ株がまとまりやすいので、限られた空間でも十分に楽しめる鉢花として完成度が高い。ベスト・フラワー（優秀賞）と、生産者・消費者 両社にとって扱い易く、育てやすい品種に授与されるグッドパフォーマンス特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 これまでのペチュニア品種開発では、花を特長付ける重要な要素である「香り」を取り入れることがほとんど行われていなかったため、そこに着目して開発いたしました。

【開発のコンセプト】 ペチュニアは定番の人気商品になっていますが、実際に店頭で飾られている見本鉢のように美しく仕立てるにはこまめなピンチなど手間がかかるという現状があります。そのためガーデニングビギナーの方でも手間をかけず綺麗に仕立てることができる品種の育成を目指しました。「ギュギュ ダブルベリー」は花弁の基部が濃ピンク色の八重咲き品種。分枝性がよいため花数が多く、夏の暑い時期でも花が途切れることなく咲き続けます。また八重の安定性が高く、シーズンを通して豪華な雰囲気を楽しめます。

【今後の展開】 小輪の花が「ギュギュっと」たくさん咲くため、満開時には株全体が花で覆われ、また様々な鉢サイズに合うよう育てやすさを追求した「ギュギュ」シリーズを通じてより多くのご家庭で美しい花を楽しんでいただけるよう品種開発を行ってまいります。

鉢物部門 秋 審査会
ベスト・フラワー（優秀賞） [ライフデザイン特別賞・モニター特別賞（秋）同時受賞]


品目名 : シクラメン
 品種名 : 月下
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社（東京都）
 有限会社大栄花園（千葉県）
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : 高橋 康弘
 審査講評 : シルバーリーフと青花のコントラストが非常に美しい。深みがありながらも暗過ぎない花色はモードな雰囲気、ジャスミンに似た甘い芳香も好ましい。これまで鉢花を飾りにくかった場所への提案が期待でき、ライフデザイン特別賞とモニター特別賞（秋）同時受賞。強健で株姿も乱れにくい。新規性に富む花色に加え、シルバーリーフ系品種が本品目の多様性を広げることに期待する。人気投票では第1位。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 育種から生産までこだわり抜いたブルーシクラメンシリーズを作りたいという思いから10年の歳月を掛けて作出了。

【開発のコンセプト】 銀葉とブルーの花のコントラストが美しく、且つ香りのある品種。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 花上がり、葉数が多く見ごたえがある草姿で、且つ香りを持つ品種の選抜に苦労した。

【今語の展開】 引続きこれまでに無い、ブルーの花色、花型を持ち、年末ギフトにふさわしい豪華な仕上がりになる品種の作出に注力したい。

鉢物部門 秋 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニュースタイル特別賞 同時受賞]



品目名 : ユーフォルビア (ポインセチア)
 品種名 : プリンセチア オペラ
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社 (東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : Andrew Bernuetz
 育成者権者 : Bonza Botanicals Pty Limited
 審査講評 : 幾重にも密に重なる苞が、まるでバラの花のように豪華。苞の縁がわずかにウェーブがかっているため動きがあり、ゴージャスでエレガントな雰囲気。情熱的で輝くようなローズレッドの花色は、非常によく人目をひく。耐暑性もあり、華奢に見えたポインセチアで今後はボリュームのある作りを可能にする品種であると、期待が込められたニュースタイル特別賞同時受賞。人気投票では第2位。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ポインセチアに新しい市場を創りたいという思いから、今までにない咲き姿、消費者の元での長い鑑賞性、そして生産者メリットが高い品種を目指し、今回のオペラが誕生しました。

【開発のコンセプト】 バラのように幾重にも苞が重なり合う今までになかった美しい八重咲き、インパクトのある濃いローズレッドの色合い、そしてフェードせずに長く楽しめる、トータルパフォーマンスの高い品種です。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 新しいものを生み出すことや、自分のアイデアが実現できるかどうかは開発の面白さでもあり、同時に難しい挑戦です。

【今後の展開】 新しい価値を提供できることを目指して開発を続けていきます。

鉢物部門 春 審査会

ニュースタイル特別賞



品目名 : アジサイ
 品種名 : スターリットスカイ絢
 受賞者 : 有限会社川與園芸 (愛知県)
 育成者 : 川口 隆徳
 審査講評 : 濃い青の花色に白の絞り斑が入る「スターリットスカイ」の黒軸バージョン。和風の風情もある独創性のある絞り斑や、秋には紅葉を楽しむ点など、少し珍しいタイプのアジサイを求める人にお勧めしやすい。来場者人気投票の鉢物部門で第4位に入賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 当園オリジナル品種のアジサイ スターリットスカイからの枝変わり品種です。2014年に出荷品から黒軸の枝を見つけました。その一本の枝を挿し木で増やし、翌年花色を確認してから挿し木をし、三年かけて品種を固定しました。

【開発のコンセプト】 強いアジサイの品種を目指して開発しています。根が強く立ち枯れが出にくいこと。枝が太く花の重みで垂れることがないこと。さらに変わり咲きの品種を目指して開発しています。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 お客さんに「きれいな花だね」と言われると嬉しいです。良い花を見つけ出し、それを固定するのが難しいです。

【今後の展開】 より良い品種の育成、開発を目指していくのと同時に鉢花の生産者としてより品質の高い商品を提供できるように努力していきます。

カラークリエイト特別賞



品目名 : ペチュニア
 品種名 : ブルームーン
 受賞者 : タキイ種苗株式会社(京都府)
 ホームページ : [http:// www.takii.co.jp](http://www.takii.co.jp)
 育成者 : 古市 浩之
 審査講評 : 上品な雰囲気のあるブルーのペチュニア。咲き進むとブルーに濃淡が出るという。ペチュニアで香りを楽しむという新しい価値がプラスされた品種。香りの感じ方は時間帯や人によっても違うが、「夜に香るペチュニア」というコンセプトにあったネーミングや花色もまた素晴らしい。
 人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種、花色の流行を先取りした品種に授与されるカラークリエイト特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 これまでのペチュニア品種開発では、花を特長付ける重要な要素である「香り」を取り入れることがほとんど行われていなかったため、そこに着目して開発いたしました。

【開発のコンセプト】 F1品種としては、世界で初めて、芳香性品種の開発に取り組み“ペチュニアで香りを楽しむ”という新しい魅力をプラスすることを目的としました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 どんなに素材同士が強い香り、華やかな香りを持っていても、その交雑系統が必ずしも香りの強さ、良さをそのまま遺伝するとは限りません。様々な系統との交配を何度も繰り返し、最も華やかで、強く香る系統を選抜し、作出されたのがブルームーンです。

【今後の展開】 これまで主流であった色や形を楽しむ草花園芸の世界に、新たに香りの要素を加えることができたので、ブルームーンを積極的に推進し草花の楽しみをさらに広げていけるよう普及に努めてまいります。

ライフデザイン特別賞



品目名 : ファレノプシス
 品種名 : ホワイトシルク
 受賞者 : 株式会社マルイ洋蘭開発センター(群馬県)
 ホームページ : <http://www.e-hanaran.com/>
 育成者 : 柯 文秀
 審査講評 : クリアな雪白色で雰囲気の良い品種。シルクという名にふさわしいこれまでと違う新規性のある白色が良い。
 いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあるだけで日々の生活を楽しくさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されるライフデザイン特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 白のミディ胡蝶蘭といえば、誰もが知っているアマビリスですが、それに代わる品種の研究を以前より進めていました。

【開発のコンセプト】 アマビリスは暑さに弱く、乾燥に弱い(温度変化に弱い)ので、ホワイトシルクの開発はその点を重視しました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 輪の大きさはアマビリスほどではないので、今後は輪のボリュームを追及していきたい。

【今後の展開】 ホワイトシルクを親にして新たな交配を進行中。

ニューバリュー特別賞



品目名 : ユーフォルビア (ハナキリン)
品種名 : レッドドラゴン
受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)
ホームページ : <http://www.simplybeautiful.jp/>
育成者 : Chien-Young Chu/Sheng-An Yang
育成者権者 : Young Sun Horticulture
審査講評 : とげがないハナキリンが登場。ユーザーへのセールスポイントとなるのはもちろん、生産の場でも扱いが楽になるだろう。新たな価値観に期待すべく、ニューバリュー特別賞受賞。連続開花性に優れ、花色、葉色、茎色のコントラストも良い。分枝も多くこんもりとした株姿で、とげがないぶん柔らかく優しい印象。品目としてはニッチなため、これらの長所が生きるアピール方法に期待したい。

■受賞者コメント

【開発の経緯】ハナキリンは、乾燥に強いが、従来のハナキリンにはトゲがあり、植物体を取り扱う際に注意が必要であった。様々な用途で利用インドアプランツとしても使われてできるようトゲのないハナキリンを目指した。

【開発のコンセプト】トゲをなくすため交配選抜を繰り返した。

【発見・開発の面白さ、難しさ】トゲのない系統を作出するのが難しかった。

【今後の展開】トゲがないタイプの花色を増やす。

モーストジョイ特別賞



品目名 : ファレノプシス
品種名 : アイ・キューティバイオレット
受賞者 : アイファーマーグループ蘭工房 (愛知県)
育成者 : 服部 健治
審査講評 : 一見、エキゾチックな印象で、ボリューム満点の存在感のある中大輪系の品種。よく見ると、横一文字に入る花の模様は人が目を閉じた顔のようにも見え、まるで漫画のような面白みがある。愉快的新規性は楽しい気分を呼ぶことから、モーストジョイ特別賞受賞。強烈な個性はワンランク上の気分も味わうことができる。整然とした花の並びと厚みのある花弁は特徴的で、花持ちも良い。

■受賞者コメント

【開発の経緯】現在、斑入りタイプの品種は、ミディクラスを多く取り扱っています。そこで、中大輪クラスで斑入りタイプの新品種を紹介したく、開発を始めました。斑の美しさだけでなく、花の向きや並びの良さ、ボリューム感を兼ね備えた品種に出来あがりしました。

【開発のコンセプト】遠く離れた場所から見ても、はっきりと目立つ、存在感のある花弁の作りに注力してきました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】花のステムの長さ、輪乗りととのバランスを調整する点に難しいポイントがありました。

【今後の展開】商品の訴求力をより高められるような、デザイン性と耐久性を兼ね備えた品種を作り上げていきたいと考えています。

ガーデニング部門 夏秋審査会
フラワー・オブ・ザ・イヤー (最優秀賞)



いい花の新基準。

株式会社ハクサン ランタナ スーパーランタナ「ムーンホワイト」



品目名 : ランタナ
品種名 : スーパーランタナ
ムーンホワイト
出品者 : 株式会社ハクサン(愛知県)
ホームページ : <https://www.hakusan1.co.jp>
育成者 : Thomas Psenner
育成者権者 : J&H Japan
審査講評 : 分枝よく、連続開花性の高いランタナ。白色品種のムーンホワイトは、一房の花が5cm程と大きい。1株でこんもりと自然に丸くまとまり、花壇の群植では高さも揃い、株割れすることもなく花壇をカバーするパフォーマンスを見せた。

ペチュニアでもニチニチソウでも無い白い花は、夏花壇の素材として欲しいもの。花壇だけでなく、寄せ植えやハンギングバスケット用としても用途が広く、いろいろな楽しみ方ができる。



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/25撮影) ▲定植後42日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/3撮影) ▲定植後59日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/20撮影) ▲定植後90日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/20撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】ランタナは元々暑さに強い植物として知られてきましたが、ガーデンで栽培する場合は2つの欠点がありました。1つ目は枝が走りがちで切り戻しなどを繰り返さないといびつな形になること。2つ目は花が咲いた後に休みがちで常に花を楽しめないこと。PW (Proven Winners)イタリヤの育種チームは、日本と同様の酷暑環境下でこれらの欠点を解消すべく改良をスタートしました。

【開発のコンセプト】まず分枝性に着目し、ピンチしなくても自然に枝分かれするように改良を加えていきました。従来のランタナとはまるで異なり、ピンチが苦手なビギナーでもこんもりした形が楽しめます。また、花が休む対策については花が咲いている間に次の花芽がつくように改良していること、また分枝力を高めたことで花芽の数自体を大幅に増やしたことで解消しています。植栽などでも活躍してくれることでしょう。

【発見・開発の面白さ、難しさ】ムーンホワイトを含め、同様のコンセプトを持った品種はスーパーランタナとして認められます。ただし、同じレベルの品種を作出するのは非常に難しく、1品種生み出すのに相当な数の交配・試験を繰り返しています。

【今後の展開】色幅を増やし、存在感のある大きな花を咲かせる品種を開発していきます。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔ニュースタイル特別賞 同時受賞〕



品目名 : カリブラコア
 品種名 : ミリオンベル グランオレンジ
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社
 (東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : 山田 将弘
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : 個性的なオレンジ色の大輪品種。

遠くから見ると濃いオレンジ色だが、近くで見るとひとつの花の中にグラデーションがあり、大輪のカリブラコアに立体感が生まれている。

暑さに負けず生育は旺盛で、株揃いも良く、安定したパフォーマンスを見せた。植え付けてから咲きそろうまでの期間も短く、ピンチした後の回復も早かった。花ガラも目立ちにくい。

魅力的な花色、「ミリオンベル」という名の印象にも合った花のボリューム感、花壇にも寄せ植えにも使いやすい点など、消費者におすすめできるポイントが多く、ベスト・フラワー(優秀賞)を受賞。大輪のカリブラコアで新しく優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞した。



▲定植後 6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)



▲定植後55日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)



▲定植後104日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/23撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ミリオンベルは強健で耐暑性も高く長く咲く初心者でも安心して楽しめるブランドですが、これまでは小輪しかありませんでした。より多くのお客様に楽しんでいただくべく、これまでのかわいい小輪ではなく、豪華な大輪を作ることを目標に大輪化の改良を行いました。

【開発のコンセプト】 分枝・生育が良く、強健な‘大輪’のミリオンベル。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 大輪品種は株が大きくなりやすい傾向があり、大輪かつ分枝まとまりの良い品種に改良する点に難しさがあった。

【今後の展開】 ミリオンベルの楽しみ方のバリエーションを広げ、より多くのお客様に楽しんでいただけるよう、引き続き品種の改良を進めていきたいと考えております。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕



7/17撮影



7/17撮影



品目名 : ペチュニア
 品種名 : スーパーチュニア
 ビスタ ミニピンクスター
 受賞者 : 株式会社ハクサン(愛知県)
 ホームページ : <https://www.hakusan1.co.jp>
 育成者 : Plant21
 育成者権者 : J&H Japan
 審査講評 : スーパーチュニア ビスタミニシリーズのピンクと白の複色小輪品種。一見してそれとわかる特徴ある花が、カーペット状に咲く姿は見事。

耐暑性、耐雨性、連続開花性について申し分ない。とりわけ分枝が良く、ピンチを行わなくても花の密度を保った。多少の枝変わりが見られ、高温期に白い部分が若干多くなり花色全体が明るく見えるが、独特の模様はしっかり入っていた。

群植するとカーペット状になり、単株ではコンパクトに自然に丸くまとまる。蒸れる、花卉が傷みが目立つ、大きくなりすぎて困る、匂いが強い等のペチュニアに対して起こりがちな不満がなく、消費者の方が育てやすい品種。ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を受賞。



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/25撮影)



▲定植後28日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮影)



▲定植後53日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/20撮影)



▲定植後91日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/21撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 スーパーチュニア ビスタシリーズは暑さや雨、病気に対する強さ、生育の旺盛さ、傷んだ場合の回復力において数ある栄養系ペチュニアの中でも群を抜く強さを持っています。一方で住宅環境の変化に伴い、小さなスペースでも綺麗にまとまって咲く、しかも強く栽培が簡単な品種という需要も大きくなってきています。それがビスタ ミニシリーズ開発の背景です。

【開発のコンセプト】 ビスタ ミニは従来のビスタシリーズの強健さに加えて、鉢植えでのパフォーマンスを上げるため、花を密度高く咲かせ続ける性質を持たせました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 新品種のために交配する何万という株の中で「ハッ」とする素晴らしい個体が稀に現れることがあります。世界5箇所で行われるPWの2年間選抜の過程でふるいにかけて99%以上は落ちていきますが、その個体が選抜を乗り越えた時はまさに神様が与えてくださった品種だと感謝します。

【今後の展開】 ビスタシリーズの色幅の拡充し、色とりどりのビスタをお選び頂けるよう育種を続けています。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕



7/17撮影



品目名 : サルビア
 品種名 : スーパーサルビア
 ロックンロール ディープパープル
 出品者 : 株式会社ハクサン(愛知県)
 ホームページ : <https://www.hakusan1.co.jp>
 育成者 : Plant21
 育成者権者 : J&H Japan

審査講評 : 深みのあるブルーのガクと赤みの紫色の密な花穂。夏花壇の挿し色として使えるインパクトあるサルビア。

自然に分枝し、大きく崩れることもなく、花上がりも良かった。1株でもかなり大きく育てることもできる。また、ランドスケープデザインの中でも活用が期待できる。

暑い夏にそれ程手を入れずに長く楽しめることは家庭用としてだけでなく、公共花壇にも求められる要素であり、それを叶えている。

ベスト・フラワー（優秀賞）と、グッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/25撮影)



▲定植後28日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮影)



▲定植後59日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/20撮影)



▲定植後91日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/21撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】PWグループの育種会社であるPlant21で作出された品種です。Plant21のミッションは植物育種でイノベーションを引き起こすことです。特に野生種を用いた種間交雑により多くの品種を作出してきました。本品種についても全く新しい性質を持ったハイブリッド種となっております。

【開発のコンセプト】ガーデンパフォーマンスを大幅に引き上げたメドーセージタイプの品種です。具体的な特徴は、伸びずに密に分枝し、手入れが簡単なこと。また花が大きく、セルフクリーニング、長期間連続開花します。

【発見・開発の面白さ、難しさ】ガーデンパフォーマンスと一言で言っても様々な要素が影響しあっており、全体的な性質向上は容易ではありません。ただ、育種家としてサルビアには特に思い入れがあり、これまでになかった特性を作りたいという情熱は強く持っています。

【今後の展開】今後は色幅を広げるのはもちろんのこと、新たな性質のサルビアも考えています。ご期待ください。

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイト特別賞 同時受賞]



品目名 : ニチニチソウ
 品種名 : モネ
 受賞者 : 北島園芸(奈良県)
 育成者 : 北島 治
 審査講評 : ピンク色に中心部分が濃いポルドーカラーのクラシカルな雰囲気のあるニチニチソウ。子どもの描くシンプルな花の絵のようなノスタルジックな魅力もある。花色、花型ともにオリジナリティが高い。

定植してから花が満開になるまでに比較的ゆっくりと生長し「スロースターター」ともいえるが、その間、葉も美しく、病気も出ずに、一番気温が高く厳しい時期に満開となった。

株は均一な高さに伸びず高低が出るが、揃わないところが自然風なデザインにも使いやすいという意見もあった。花壇でもやや横に伸びながら広がり、枝に高低が出るので整った雰囲気ではなかったが、平坦にならず自然に花壇をカバーする仕上がりとなった。

ベスト・フラワー(優秀賞)、カラークリエイト特別賞を受賞した。



▲定植後7日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮影) ▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/23撮影) ▲定植後55日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/6撮影) ▲定植後70日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/21撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】今までにない花形、花色の日々草を作り出すために育種をしています。その中でアンティークカラーの花色を持つ品種が出来上がりました。

【開発のコンセプト】アンティークカラーの日々草を作りたいと思い選抜し交配を繰り返しました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】新しい品種を作るには売れる品種を選抜するだけではありません。選抜過程で破棄される品種の中にも少しでも可能性があれば残して交配の材料としています。そうすると稀に面白い品種が生まれる事もあります。その選抜過程がとても楽しいので育種を頑張っています。

【今後の展開】今後は今ある品種をさらに進化させより魅力的な品種作りに取り組んでいきます。それと並行して新しい日々草を育種して行きます。毎年新しい品種を紹介できるよう頑張ります。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕



7/20撮影



6/8撮影



8/7撮影



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子（6/4撮影）



▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子（7/3撮影）



▲定植後83日の露地花壇・群落植栽の様子（8/20撮影）

品目名 : ランタナ
 品種名 : ブルーミファイ レッド
 受賞者 :
 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
 ホームページ:
<http://www.simplybeautiful.jp/>
 育成者 : David Clark
 育成者権者 : Florida Foundation Seed Producers, Inc
 審査講評 : 不稔性のランタナ。種子ができ
 ないことから、株の消耗が少
 ないため開花期間が長い。発色
 が鮮明で存在感ある花が長く楽
 しめる。連続開花性も認められ
 た。

分枝が良くボリュームがでる
 が、株の揃いも良く、また、株
 が倒れることもなかった。

コンテナ植えにすると形よく
 マウンド状にまとまり、花壇で
 はやや高性の材料として良い。
 従来と異なる新たなランタナと
 して、消費者におすすめできる
 ポイントが多く、ベスト・フラ
 ワー(優秀賞)、グッドパフォー
 マンス特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】ランタナはランドスケープタイプの這い性品種が多く流通しており、鉢物や寄せ植え向きの品種が少ない。また、風や接触などで花が落ちやすいためその改良を目指した。

【開発のコンセプト】 雄性不稔・コンパクトでまとまりの良い草姿

【発見・開発の面白さ、難しさ】 雄性不稔の系統は狙い通り、花もちがよくなった。

【今後の展開】 雄性不稔の性質を保ちつつ、黄色や白などの新花色を目指したい。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : ペチュニア
 品種名 : サフィニアアート
 ローズイエロー
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : 山田 将弘
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : 花弁に模様が入るサフィニアアートシリーズの「ローズイエロー」のリニューアル品種。花色の色褪せもなく、くっきりとした星形が印象的。

耐暑性、連続開花性が高く、分枝力旺盛で、中輪の花がボリュームたっぷりに開花する。葉色も美しく、花とのバランスも良かった。こんもりとまとまる草姿は、1品種で植えても十分に見栄えのする仕上がりとなる。消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を授与された。



5/29撮影



5/29撮影



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)



▲定植後27日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/7撮影)



▲定植後55日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】これまでサントリーは白色スターパターンの品種が多かったが、白色以外のスターパターンがあれば、よりコントラストが美しいのではないかと考え、有色品種との交配を実施。選抜した結果、今回のローズ&黄色スターパターンの品種を作出することに成功した。

【開発のコンセプト】日本の高温多湿の夏にも負けないガーデンパフォーマンスの強さを兼ね備えたスター咲きサフィニア。

【発見・開発の面白さ、難しさ】複色の品種開発は、色パターンの安定しないことが多く、また時期によっても色パターンが変わることがあるので、シーズンを通じて色パターンの安定した品種を選抜するところが難しく、重視しているポイントである。

【今後の展開】今後は黄色スターパターンの色バリエーションの拡大を進めていきたいと考えております。

モーストジョイ特別賞

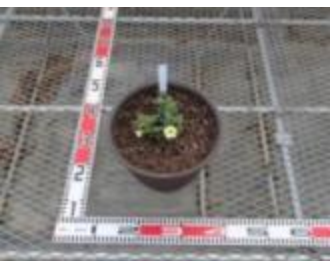


品目名 : カリブラコア
 品種名 : ミリオンベル バターポップコーン
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>

育成者 : 山田 将弘
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : 白〜クリームイエローの花弁に黄色いアイがポップな印象を与える。小輪系の花が次々に開花する様子が「バターポップコーン」という名前にマッチしていて楽しい。

分枝性も高く、ボリュームたっぷりに育つ。広がらず、やや立ち上がり気味の株は、ハンギングバスケットや寄せ植えで使いやすい。

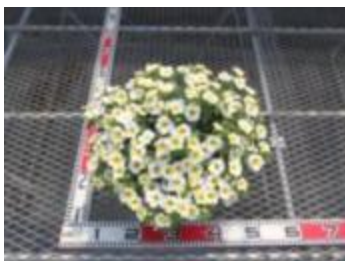
誰にでも育て易い性質に加えて、次々に鈴なりに咲き、植物を育てる楽しさや喜びをもたらしてくれる品種として、モーストジョイ特別賞を受賞した。



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)



▲定植後28日の屋根付き施設での様子 (5/8撮影)



▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)



▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ミリオンベルはこれまで基本性能にこだわった単色のみのラインアップでしたが、花色でもお客様にも楽しんでいただくべく、複色のユニークカラーの開発に取り組みました。

【開発のコンセプト】 分枝・生育が良く、強健で、かつお客様が楽しくなるようなユニークカラーの品種の開発。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 ただ花色が面白いだけでなく、ミリオンベルの基本性能を兼ね備えた品種を育成することに難しさがあった。

【今後の展開】 ミリオンベルの楽しみ方のバリエーションを広げ、より多くのお客様に楽しんでいただけるよう、引き続き品種の改良を進めていきたいと考えております。

ニュースタイル特別賞



品目名 : カリブラコア
 品種名 : ミリオンベル グランアクア
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : 山田 将弘
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : さわやかなペールブルーの大輪品種。

暑さに負けず生育は旺盛で、株揃いも良く、安定したパフォーマンスを見せた。植え付けてから咲きそろうまでの期間も短く、花ガラも目立ちにくい。ピンチによってほどよく茂り、ほどよくまとまる草姿で、バランスが良い。

魅力的な花色、「ミリオンベル」という名の印象にも合った花のボリューム感、花壇にも寄せ植えにも使いやすい点など、消費者におすすめできるポイントが多い。大輪のカリブラコアで新しく優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞した。



5/29撮影



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)

▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/21撮影)

▲定植後55日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)

■受賞者コメント (カリブラコア ミリオンベル グランシリーズ受賞全品種共通)

【開発の経緯】 ミリオンベルは強健で耐暑性も高く長く咲く初心者でも安心して楽しめるブランドですが、これまでは小輪しかありませんでした。より多くのお客様に楽しんでいただくべく、これまでのかわいい小輪ではなく、豪華な大輪を作ることを目標に大輪化の改良を行いました。

【開発のコンセプト】 分枝・生育が良く、強健な‘大輪’のミリオンベル。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 大輪品種は株が大きくなりやすい傾向があり、大輪かつ分枝まとまりの良い品種に改良する点に難しさがあった。

【今後の展開】 ミリオンベルの楽しみ方のバリエーションを広げ、より多くのお客様に楽しんでいただけるよう、引き続き品種の改良を進めていきたいと考えております。

ニュースタイル特別賞



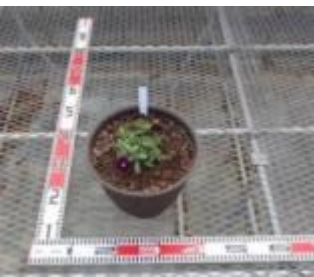
品目名 : カリブラコア
 品種名 : ミリオンベル グランブルー
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : 山田 将弘
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : 深い青紫色の大輪品種。黄色いアイとのコントラストが印象的。

暑さに負けず生育は旺盛で、株揃いも良く、安定したパフォーマンスを見せた。植え付けてから咲きそろうまでの期間も短く、濃い色だが傷も花ガラも目立ちにくい。ピンチによってほどよく茂り、ほどよくまとまる草姿で、バランスが良い。

魅力的な花色、「ミリオンベル」という名の印象にも合った花のボリューム感、花壇にも寄せ植えにも使いやすい点など、消費者におすすめできるポイントが多い。大輪のカリブラコアで新しく優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞した。



5/29撮影



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)



▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後87日の屋根付き施設での様子 (7/6撮影) * 切り戻し後24日



▲定植後104日の屋根付き施設での様子 (7/23撮影) * 切り戻し後41日



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/21撮影)



▲定植後101日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/20撮影)

ニュースタイル特別賞



品目名 : カリブラコア
 品種名 : ミリオンベル グランピンク
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : 山田 将弘
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : 青みがかった濃いピンクの大輪品種。一品種使いでも花壇や寄せ植えのポイントに挿し色としても美しいフーシャピンク。輪径はシリーズの中でも一番大きい。

暑さに負けず生育は旺盛で、株揃いも良く、安定したパフォーマンスを見せた。植え付けてから咲きそろうまでの期間も短く、濃い色だが傷みも花ガラも目立ちにくい。ピンチによってほどよく茂り、ほどよくまとまる草姿で、バランスが良い。

魅力的な花色、「ミリオンベル」という名の印象にも合った花のボリューム感、花壇にも寄せ植えにも使いやすい点など、消費者におすすめできるポイントが多い。大輪のカリブラコアで新しく優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞した。



5/29撮影



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)

▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)

▲定植後87日の屋根付き施設での様子 (7/6撮影) * 切り戻し後24日

▲定植後104日の屋根付き施設での様子 (7/23撮影) * 切り戻し後41日



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/21撮影)



▲定植後101日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/20撮影)

ニュースタイル特別賞



品目名 : カリブラコア
 品種名 : ミリオンベル グランホワイト
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : 山田 将弘
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : 純白にライトイエローのアイが入る上品な印象のある大輪品種。

暑さに負けず生育は旺盛で、株揃いも良く、安定したパフォーマンスを見せた。植え付けてから咲きそろうまでの期間も短い。シリーズの中ではややコンパクトで、花壇より屋根付き施設でのパフォーマンスが良かった。

魅力的な花色、「ミリオンベル」という名の印象にも合った花のボリューム感、花壇にも寄せ植えにも使いやすい点など、消費者におすすめできるポイントが多い。大輪のカリブラコアで新しく優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞した。

5/29撮影



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)

▲定植後28日の屋根付き施設での様子 (5/8撮影)

▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)

▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)

▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/21撮影)

▲定植後55日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)

ニュースタイル特別賞

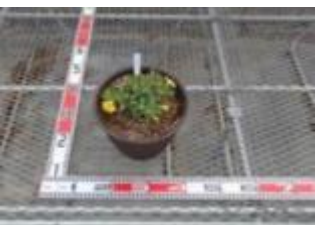


5/29撮影

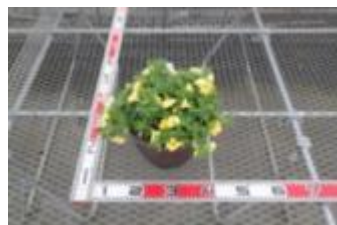
品目名 : カリブラコア
品種名 : ミリオンベル グランイエロー
受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
育成者 : 山田 将弘
育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
審査講評 : 明るい黄色の大輪品種。近くで見るとグラデーション感もある。

暑さに負けず生育は旺盛で、株揃いも良く、安定したパフォーマンスを見せた。植え付けてから咲きそろうまでの期間も短い。シリーズの中ではやや這性で、花壇を覆うカバー力が素晴らしい。

魅力的な花色、「ミリオンベル」という名の印象にも合った花のボリューム感、花壇にも寄せ植えにも使いやすい点など、消費者におすすめできるポイントが多い。大輪のカリブラコアで新しく優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞した。



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)



▲定植後28日の屋根付き施設での様子 (5/8撮影)



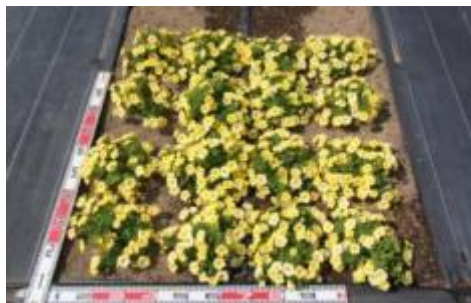
▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)



▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/21撮影)



▲定植後55日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)

カラークリエイト特別賞



品目名 : マンデヴィラ
 品種名 : サンパラソル アプリコット
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : 見里 朝也
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 : サンパラソルシリーズの新色で、単体で目立つ色ではないが、他の花とも合わせ易い優しいアプリコットカラー。花色と草姿の柔らかさがマッチしている。
 つるが旺盛に伸びるタイプではないので、花壇よりコンテナ使いがお勧めで、丈夫で寄せ植えにも使いやすい。花がクラスター状に次々に咲くので、花の重みでやや花が下を向く。下から見上げる吊り鉢などに植栽するとこの花のかわいらしさが引き立つ。
 人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種としてカラークリエイト特別賞を受賞した。



▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/29撮影)



▲定植後84日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/17撮影)



▲定植後133日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/4撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】白から赤までの色しかなかったマンデヴィラで、今までに無い色で春から晩秋までずっと花が楽しめる新品種を目指した。

【開発のコンセプト】ユニーク色。他のどこにも無い花色のマンデヴィラ。

【発見・開発の面白さ、難しさ】花の色やキレイさを追い求めると、他の性質が悪くなって病気にかかりやすくなったり、生産が難しくなる場合が多い。新商品として世界中に紹介するためにも生産性と花の美しさを兼ね備えたものを目指してそれが出来た時の感動。

【今後の展開】今まであまり興味の無かったようなお客様にも店頭で手に取っていただけるような、また、それを生産する生産者様が簡単に出来、是非もっと生産したいと思っただけの品種の開発。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : アメリカフヨウ
 品種名 : タイタンビカス ウラノス
 受賞者 : 株式会社赤塚植物園(三重県)
 ホームページ : <http://www.jp-akatsuka.co.jp>
 育成者 : 倉林雪夫
 審査講評 : タイタンビカスの中でも花径が25cm程になる大輪品種。ローズレッドの存在感のある花が夕方までしおれずに楽しめる。

草丈は人の背の高さほどまでのいわゆるミディウムトールタイプで大きくなりすぎず、低い位置からの分枝もあり花数も多い。台風等の影響による側枝の折れが多少見られたが、大きく乱れることはなかった。

タイタンビカスの数多いラインナップの中でも草丈と分枝のバランスも良く、花壇だけでなく家庭での鉢栽培もしやすい。消費者にとって扱い易く、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を受賞した。



8/6撮影



▲定植後2日の露地花壇での様子 (5/25撮影)



▲定植後40日の露地花壇での様子 (7/2撮影)



▲定植後90日の露地花壇での様子 (8/21撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 純白の花を咲かせる高性の個体にショートタイプでピンクの巨大輪を交配したところ、180cmほどに収まるミディウムトールで大輪の花を咲かせる個体が多く出た。その中で、一番花が大きなローズ赤の個体を選抜した。高い位置で迫力のある花を咲かせるため、ギリシャ神話の天空の神ウラノスの名を付けた。

【開発のコンセプト】 ミディウムトールの草丈で、透明感のあるネオンタイプの花色の巨大輪。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 純白高性種にピンクの花を交配し、透明感のあるネオンタイプの花を目指していたが、ここまで濃色で巨大輪の花は期待していなかった。さらに、巨大輪でありながら花が傷みにくく、夕方までその形を保ってくれるのは、両親の良い所を引き継いでくれたといえる。

【今後の展開】 草丈180cm近くになる高性なので、1mほどに収まるコンパクトなタイプを作りたい。さらに開花期も早咲きにして、6月から咲くようにしたい。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : アメリカフヨウ
 品種名 : タイタンビカス レイア
 受賞者 : 株式会社赤塚植物園(三重県)
 ホームページ : <http://www.jp-akatsuka.co.jp>
 育成者 : 倉林雪夫
 審査講評 : タイタンビカスの中でも花径が25cm程になる大輪品種。青みがかった濃いピンクの花が夕方までしおれずに楽しめる。

草丈は1mほどまでのいわゆるショートタイプで、低い位置からの分枝もあり花もつく。

草丈が低くどっしりと安定感あるタイプで、花壇だけでなく家庭での鉢栽培もしやすい。草丈が大きく育つタイタンビカスの定番品との違いを販売時に消費者にわかりやすく伝えたい。

消費者にとって扱い易く、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を受賞した。



▲定植後2日の露地花壇での様子 (5/25撮影)



▲定植後58日の露地花壇での様子 (7/20撮影)



▲定植後90日の露地花壇での様子 (8/21撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ピンクの大輪高性で夕方7時ころまで萎れない個体に、濃ローズピンクで6時過ぎまで萎れない大輪の花をかけたところ、明るいピンクの巨大輪で、6時過ぎまで萎れない個体が生まれた。花粉親の株元からの分枝が多い性質を引き継ぎ、草丈1mほどに収まって株立ち状にどっしりと茂るのが特徴。交配親としてもすぐれ、いくつかの品種の親となっているので、多くの神々の母となった女神レイア（レアー）の名を付けた。

【開発のコンセプト】 今までの品種の多くが午後3時～4時頃と早い時間に萎れてしまうので、夕方までしおれない花を目指した。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 夕方まで長持ちする花という目標が達成できただけでなく、巨大輪でさらに1mほどに収まるショートタイプの上、株立ち状に良く茂るという特性は期待以上のものであった。

【今後の展開】 草丈1mほどに収まるショートタイプで交配親としても優れるため、コンパクトな品種の育種が進んでゆく期待される。

ジャパndeザイン特別賞



品目名 : ペチュニア
 品種名 : ベニ茜
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)
 ホームページ : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>
 育成者 : 松原 紀嘉
 審査講評 :

シックなバーガンディ色のグラデーションが個性的な小中輪タイプのペチュニア。花弁が反り返らず、上向きに咲くので、小輪でも色のはっきりと主張する。

立ち性でドーム型に育ち、生育は旺盛で見ごたえがあり、過酷な環境にも耐え、長期にわたり数多くの花がついた。

観察期間中にも少しずつ色の変化があったが、秋花材を足せばそのまま秋花壇や秋のコンテナに作り替えられるようなシックな色合い。少しにじんだようなレトロ調にも見える花色は、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種としてジャパndeザイン特別賞を受賞した。



5/29撮影



5/22撮影



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽での様子 (4/20撮影)



▲定植後20日の露地花壇・群落植栽での様子 (5/7撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽での様子 (5/21撮影)



▲定植後55日の露地花壇・群落植栽での様子 (6/4撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 洋風のイメージ強いペチュニアで、『和』のイメージに合うペチュニアを生み出したい。そんな日本的なペチュニアを生み出すため、園芸専門店『金久』と共同で、選抜を行い誕生したのが、このベニ茜です。

【開発のコンセプト】 日本的で落ち着いた色合いで、日本人らしさが映し出される花色を目指して開発した。さらに、日本の環境でもよく育つ丈夫さも兼ね備えるように、選抜を行ってきた。和洋折衷で、何とでも合わせやすい花色で、日本人の感性に響く品種を目指して開発した。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 ベニ茜を1年間栽培試験をしてみると、日本の四季の変化に合わせて、花色が変わるという特性が見つかった。さらに花色だけでなく、花の形まで四季に合わせて変化をするという発見をした。これは今までのペチュニアにはない形質であり、日本らしい品種になったと感じた。

【今後の展開】 花色を増やしたり、八重咲きの形質を付加してみたりして、さらなる品種の開発を目指したい。

カラークリエイト特別賞



品目名 : ペチュニア
 品種名 : 妖精のチュチュ グリーンストライプ
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)
 ホームページ : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>
 育成者 : 松原 紀嘉
 審査講評 : ひらひらと波打った花冠にうっすらとライムグリーンのストライプが入る個性的なタイプのペチュニア。

耐暑性、耐環境性があり、株が丸く整う、ほど良い大きさでまとまる。白地に淡いグリーンのストライプ、中心部分の濃いアイのコントラストが美しく、遠くで見ると近くでの観賞のほうが価値が上がる。花ガラは目立ちにくかった。

1品種で植えると爽やかな印象だが、どんな色の花とも合わせやすい花色で、カラークリエイト特別賞を受賞。



6/8撮影



6/8撮影



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽での様子 (4/20撮影)

▲定植後20日の露地花壇・群落植栽での様子 (5/7撮影)

▲定植後41日の露地花壇・群落植栽での様子 (5/21撮影)

▲定植後59日の露地花壇・群落植栽での様子 (6/8撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 2014年2月に関東を襲った大雪で、松原園芸の温室が何棟も潰れてしまいました。そんな中、潰れた温室の中で生き延びる花たちを少しでも助け出したいと、わざわざ駆けつけてくださった横浜のお花屋さんアン ヴォヤージュ ドゥ フルールさん。その後も、潰れた温室の植物を助けてくれたアン ヴォヤージュ ドゥ フルールさんと意気投合し、花屋さんと生産者という新しいコンビで、新品種を開発しようとして動き出しました。そして、2016年から誕生したのが、新品種ペチュニア『妖精のチュチュ』です。

【開発のコンセプト】 誰でも育てやすい品種を目指し、病気にも、暑さにも強い品種にしました。そして、これまでにない丈夫さを兼ね備え、これまでにない色合いの品種にしました。お花さんと生産者がタッグを組んで開発したペチュニアです。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 2年以上をかけて選抜を行い、本品種にたどり着いた。いろいろな環境条件、場所で植栽試験をし、耐病性、耐暑性、耐環境性も向上させることができた。

【今後の展開】 さらに色幅を増やして、シリーズ化し、春から長く楽しめる商品として提案していきたい。

カラークリエイト特別賞



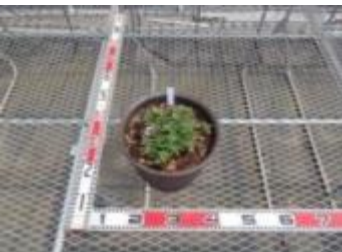
品目名 : カリブラコア
 品種名 : モーブクチュール
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)
 ホームページ : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>
 育成者 : 松原 紀嘉
 審査講評 :

グレイッシュパープルの八重咲きのカリブラコア。花壇より屋根付き施設での栽培のほうが、この微妙な色合いが良く表現された。

株はコンパクトに自然にマウンド状にまとまり、連続開花性もあった。

地味な色あいともいうが、このようなアッシュ系の色味の花は、他の色との馴染みが良く、組み合わせしやすい。コンパクトで寄せ植えやハンギングバスケットなどにも使いやすいので、主役に脇役にといろいろな活用ができる品種と言える。

カラークリエイト特別賞を受賞した。



▲定植後3日の屋根付き施設での様子 (4/20撮影)

▲定植後20日の屋根付き施設での様子 (5/7撮影)

▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)

▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ちょっとおしゃれな花を作りたい、1つの苗だけでも十分に楽しめて、見てて飽きない花を作りたい、そんな想いからシックな色合いで八重咲きのカリブラコアの開発をスタートした。

【開発のコンセプト】 まず、花が豪華な八重咲きであること、そして従来の色合いにはないシックな色合いの花を作ること、さらに丈夫で育てやすい性質であること、この条件をクリアする品種を目指して開発をした。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 光沢感のある紫色は、まるでシルクのような質感があり、思わずこれは綺麗だなと感じた。さらに季節の変化に合わせて、花色の濃淡が変化することも栽培試験を通じて発見し、面白く感じた。何度も交配を重ねることによって、思い描いていた品種にたどり着くことができた。

【今後の展開】 さらに色合いを開発して、思わず手にとってしまう品種開発を目指したい。

ニュースタイル特別賞



品目名 : ジギタリス
 品種名 : スーパージギタリス ベリーカナリー
 受賞者 : 株式会社ハクサン(愛知県)
 ホームページ : <https://www.hakusan1.co.jp>
 育成者 : Walters Gardens, Inc.
 育成者権者 : J&H Japan
 審査講評 : 分枝性に優れたハイブリッドジギタリス。ピンク×アプリコットの花穂が株元から豪華に上がってくる表現が面白い。

ロゼット状のダークグリーン of 葉も楽しめる。徐々に外側も分枝して、ボリュームが出た。花色、草姿、生育の揃いも良い。

初心者でも育てやすいが、花ガラの手入れや咲き終わった花穂の手入れ方法を案内するとより楽しめる。

新規性が高い草姿で、ニュースタイル特別賞を受賞。



▲定植後13日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/7撮影)



▲定植後27日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/21撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)



▲定植後56日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】世界初のハイブリッド(ジギタリス×イソプレキシス)となるイルミネーションシリーズが発表されたとき、鮮やかな花色や従来にない分枝力などが世界のガーデナーに驚きを与えました。PWグループで開発されたベリーカナリーはさらなる改良を加えたハイブリッド ジギタリスです。

【開発のコンセプト】通常のジギタリスと異なり次々と分枝します。ベリーカナリーは分枝した枝からさらに分枝を続けるため、見事な株に育ちます。また連続して出てくる新しい枝それぞれに花芽をつけるため春だけでなく、夏、秋と咲き続けます。タネを付けないため株にエネルギーを保つことができます。花色はピンク～オレンジ系のニュアンスカラーで自然に調和した演出ができます。光の強さによる花色の変化も楽しめます。

【発見・開発の面白さ、難しさ】従来の常識を打ち破るような品種を生み出すことが出来たときは、感動的です。世界のガーデナーの皆さんを喜ばせ続けたいと思います。

【今後の展開】色幅を増やしてお届けできればと考えています。ご期待ください。

ブリーディング特別賞



8/7撮影

品目名 : サルビア
 品種名 : ビッグブルー
 受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
 ホームページ : <http://www.simplybeautiful.jp/>
 育成者 : Scott Trees
 育成者権者 : PanAmerican Seed
 審査講評 : サルビア ファリナセア種の種間交雑種。

その名の通り分枝良く株立ちが大きく、茎も青みがかったため、花穂全体がブルーに見える。

かなり大きくなるので寄せ植え素材としてというより、低木の脇やバラなどの足元に植え込んだり、植栽の後ろ側に植えて動きを付ける等、サマーランドスケープでの活用がおすすめ。

育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種としてブリーディング特別賞を受賞。



▲定植後4日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)



▲定植後21日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮影)



▲定植後52日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/20撮影)



▲定植後83日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/20撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】ファリナセア種とロンギスピカータ種との種間交雑品種は、これまで栄養系にしかなかった。実生系を作出することで、より安価でいろいろなシーンに利用しやすい品種の作出を目指した。

【開発のコンセプト】世界初となるファリナセア種とロンギスピカータ種との種間雑種の実生系。

【発見・開発の面白さ、難しさ】種間雑種の実生系として、安定した発芽率・採取率・固定率を達成することが難しかった。

【今後の展開】栄養系品種しかない品目の実生系品種を作出する。

モーストジョイ特別賞



品目名 : ペチュニア
 品種名 : 花衣 紅水晶
 受賞者 :
 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
 ホームページ : <http://www.simplybeautiful.jp/>
 育成者 : 大屋 寛高
 育成者権者 : 株式会社 ミヨシ
 審査講評 : ピンク系白覆輪の八重のペチュニア。

日本で育種、選抜された品種で、高温・多湿にも耐えて連続で開花していた。

景観植栽というよりはコンテナなど近いところから見ると良さが伝わりやすい。あえて他の植物と組み合わせずに、1品種植えて花のレアな感じを楽しんだり、写真に撮ったりと手元で愛でるのに向いている。

覆輪の幅や花弁の重ねにややランダムな感じがあるが、それも含めて印象的な品種。園芸初心者の方や、ペチュニアを買わなかった消費者にもアピールできる魅力がある。

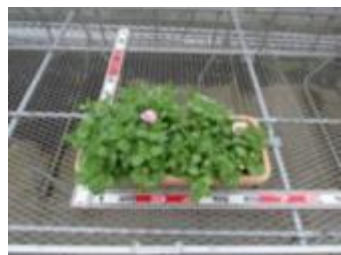
楽しい気分をもたらしてくれる品種に授与されるモーストジョイ特別賞を受賞。



7/6撮影



▲定植後10日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後20日の屋根付き施設での様子 (6/18撮影)



▲定植後38日の屋根付き施設での様子 (7/6撮影)



▲定植後55日の屋根付き施設での様子 (7/23撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ペチュニアの中でも八重で複色咲きの品種はこれまでほとんどありませんでした。

そこで、新規性の色を持った八重品種を育成すべく、開発に取り組みました

【開発のコンセプト】 覆輪の安定した八重品種 八重の美しさ など

【発見・開発の面白さ、難しさ】 なかなか狙った通りには目的的花色は出ず、意外なところから光る品種が生まれる場合もあり、難しいです。

【今後の展開】 今後も「覆輪八重」というジャンルを広げていきます。

ニューバリュー特別賞



8/21撮影



品目名 : ニチニチソウ
 品種名 : パワーワルツ クランベリー
 受賞者 : 雪印種苗株式会社(千葉県)
 ホームページ : <http://www.snowseed.co.jp>
 育成者 : KNOWN-YOU SEED CO., LTD.
 審査講評 : 従来のニチニチソウとは一線を画す、存在感ある大株となるニチニチソウ パワーワルツ。クランベリーは、濃いピンクに白いアイが入り明るい印象。

9cmポットで定植してから、約2か月後には露地花壇では60~70cm、屋根付き施設内のコンテナ栽培で70~80cmの草丈となった。販売する時に仕上がりイメージできる見本鉢などがあると伝わりやすい。茎も太く、群植したものは台風で倒れることもなく、強堅であった。耐暑性、連続開花性の点でも素晴らしいパフォーマンスを見せた。

大株になるので、家庭用やコンテナでの活用というより、高性花壇や造園での活用など景観植栽に向く。ニチニチソウの新しい使い方を広げる品種としてニューバリュー特別賞を受賞した。



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮影)



▲定植後28日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/3撮影)



▲定植後49日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/24撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 気温の高い期間が年々長くなり、暑さに強い植物のニーズが高まっている。ニチニチソウは暑さに強く、夏にパフォーマンスを発揮する植物であり、これに適している。本品種はニチニチソウでありながら、既存品種とは性質（主に草姿）が異なり、違う用途に利用できることを期待して選抜した品種である。

【開発のコンセプト】 暑い季節でも楽しめる花で、既存の品種とは異なる草姿の品種。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 既存のニチニチソウは分枝が良く、ポット出荷時はコンパクトな草姿でまとまりがよい品種が多い。しかし、本品種は茎が太く、草丈が高く、旺盛で既存品種が目指す方向とは異なる品種であった。世の中の流行とは逆の発想で選抜し、商品化した品種である。

【今後の展開】 公園や企業施設の景観植栽用、家庭でのボーダー花壇として普及を図る。

ニューバリュー特別賞



8/21撮影



8/21撮影

品目名 : ニチニチソウ
 品種名 : パワーワルツ ダークレッド
 受賞者 : 雪印種苗株式会社(千葉県)
 ホームページ : <http://www.snowseed.co.jp>
 育成者 : KNOWN-YOU SEED CO., LTD.
 審査講評 : 従来のニチニチソウとは一線を画す、存在感ある大株となるニチニチソウ パワーワルツ。ダークレッドは、インパクトあるフーシャレッド。

9cmポットで定植してから、約2か月後には露地花壇では60~70cm、屋根付き施設内のコンテナ栽培で70~80cmの草丈となった。販売する時に仕上がりイメージできる見本鉢などがあると伝わりやすい。茎も太く、群植したものは台風で倒れることもなく、強堅であった。耐暑性、連続開花性の点でも素晴らしいパフォーマンスを見せた。

大株になるので、家庭用やコンテナでの活用というより、高性花壇や造園での活用など景観植栽に向く。ニチニチソウの新しい使い方を広げる品種としてニューバリュー特別賞を受賞した。



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮影)



▲定植後28日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/3撮影)



▲定植後49日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/24撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 気温の高い期間が年々長くなり、暑さに強い植物のニーズが高まっている。ニチニチソウは暑さに強く、夏にパフォーマンスを発揮する植物であり、これに適している。本品種はニチニチソウでありながら、既存品種とは性質（主に草姿）が異なり、違う用途に利用できることを期待して選抜した品種である。

【開発のコンセプト】 暑い季節でも楽しめる花で、既存の品種とは異なる草姿の品種。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 既存のニチニチソウは分枝が良く、ポット出荷時はコンパクトな草姿でまとまりがよい品種が多い。しかし、本品種は茎が太く、草丈が高く、旺盛で既存品種が目指す方向とは異なる品種であった。世の中の流行とは逆の発想で選抜し、商品化した品種である。

【今後の展開】 公園や植物園、企業施設などの植え込み用、家庭でのボーダーとして普及を図る。

カラークリエイト特別賞



品目名 : ジニア
 品種名 : プロフュージョン レッド
 受賞者 : 株式会社 サカタのタネ(神奈川県)
 ホームページ : <http://www.sakataseed.co.jp>
 育成者 : 佐藤智博、峰村慎司
 審査講評 : 発色の良い鮮やかな赤色の大輪ジニア。離れた場所から見ても素晴らしい存在感がある。

筒状花の色が舌状花に近いので、花が終わりかけても終わった様子に見えにくく、一輪の花がきれいに長く観賞できる。また、花壇にもコンテナにも寄せ植えにも使いやすく、エンドユーザーに対するおすすめポイントが多い。

今回は、秋の時期の短期間での観察であったが、耐暑性や耐病性など暑い時期のパフォーマンスにも期待したい。

カラークリエイト特別賞を受賞。



11/13撮影



11/13撮影



11/13撮影



▲定植後 4日の露地花壇・群落植栽の様子 (10/9撮影)



▲定植後31日の露地花壇・群落植栽の様子 (11/5撮影)



▲定植後39日の露地花壇・群落植栽の様子 (11/13撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 育てやすさと豊富な花色、長期間楽しめる開花性で好評の「プロフュージョン」シリーズですが、花壇物で人気の高い「レッド」がありませんでした。「プロフュージョン」シリーズに合う、鮮やかに発色する「レッド」を育成したいとの思いから開発に至りました。

【開発のコンセプト】 「プロフュージョン」シリーズに合う耐病性と開花性を持ち、高温時や低日照下でも赤さを維持する「レッド」がコンセプトです。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 「レッド」は温度や日照量に影響を受けやすい花色で、安定的に発色する品種を育成するためには選抜環境が重要です。この選抜環境を考えることが開発の難しさでもあり、面白さでもあります。

【今後の展開】 より濃く、安定した発色をする「レッド」の他、シリーズに無かったさらなる新色の開発に取り組んでいきます。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : ディアスシア
 品種名 : ラパージュ シルクアプリコット
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)
 ホームページ : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>
 育成者 : 松原 紀嘉
 審査講評 : 優しいアプリコットカラーのディアスシア。原色系でない、オレンジともピンク色とも違うアプリコット色のため、他の花ともカラーコーディネートしやすく、またカラーリーフなどとあわせても楽しめる。主役としても脇役としても幅広く使える。

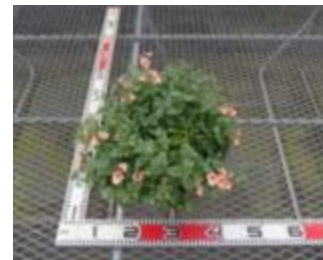
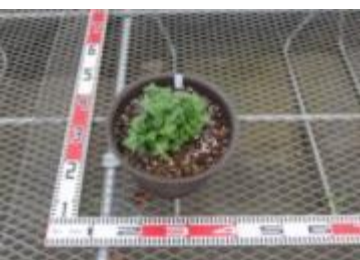
水平に広がりながら上方向にも伸び、バランスよく安定した草姿。定植して短期間で花も密に咲き、エンドユーザーが失敗なく育てやすい。不稔性で種子が付きにくいいため、株が長持ちすることもポイント。初夏～夏の蒸れが出る時期に耐暑性や耐病性を見てみたい。扱い易く、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を受賞した。



11/13撮影



11/13撮影



▲定植後4日の露地花壇・群落植栽の様子 (10/9撮影)

▲定植後17日の露地花壇・群落植栽の様子 (10/22撮影)

▲定植後31日の露地花壇・群落植栽の様子 (11/5撮影)

▲定植後39日の露地花壇・群落植栽の様子 (11/13撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ディアスシアは可愛らしい小花が沢山咲いてくれる花であるが、従来の品種では、耐病性や耐暑性が弱いと感じた。また、株張や分枝性の良い品種ができれば、まだまだ需要が伸びていくと思われる新しい品目だと思い新品种の開発をスタートした。

【開発のコンセプト】 まず、従来の品種にはない、株ばりがよく、大きく育つディアスシアを目指した。そして、夏越しがしやすいように耐暑性も強いものを選抜した。また、ムレなどにより病気が出にくい耐病性も強いものを選抜していった。基本コンセプトは、丈夫で誰でも育てやすく、しっかり育て長く楽しめる、そんな品種を生み出そうと取り組んできた。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 選抜していく過程で、耐暑性の試験をすると、ほとんどの品種が夏の暑さで枯れてしまったが、中には夏越しする系統もあり、とても丈夫なものを見つけた時は、新たな発見となり感動した。

【今後の展開】 色のバリエーションを増やし、より育てやすい品種を生み出して行きたい。

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。
各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会での協議審査の結果、切花・鉢物・ガーデニングの各部門で各1品種ずつ選ばれます。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。
各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。
なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

これまで以上に比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになかった価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパニデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しませ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。



ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)
ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。
JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRIにご活用ください。



ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、
業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。